

若年肺非結核性抗酸菌症に関する多施設共同後方視研究

京都中部総合医療センター呼吸器内科では、京都第一赤十字病院呼吸器内科、京都府立医科大学呼吸器内科および関連施設と共同で、肺非結核性抗酸菌症の患者さんを対象に臨床研究を実施しております。以前の診療録（カルテ）を使って下記の臨床研究をあらたに実施しています。

実施にあたり医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

近年、非結核性抗酸菌症（NTM）の増加は著しく、罹患率は結核を上回ることが報告されております。特に中高齢者での *Mycobacterium avium* (M.avium) と *Mycobacterium intracellulare* (M.intracellulare) を合わせた MAC 症の増加が目立ちます。Furuuchi らの報告した本邦の NTM 症の疫学調査では、50 歳未満の NTM 症は非常に少数であります。50 歳未満の若年者 NTM 症での実態は不明なところが多く、若年者でも NTM は増加傾向であるのか、若年者では高齢者と比較し異なる背景をもつのかなど不明な点が多く、実態を明らかにすることを目的としております。

研究の方法

対象となる方について

京都中部総合医療センターで 2010 年 1 月 1 日から 2021 年 9 月 30 日の間に American Thoracic Society/Infectious Diseases Society of America の診断基準（2007 年版）を満たした NTM 症の診断を受けた方で診断時の年齢が 50 歳未満の方

研究期間：調査対象期間：2010 年 1 月 1 日から 2021 年 9 月 30 日、データ・解析収集期間：倫理審査委員会承認後から 2023 年 12 月 31 日

方法

当院呼吸器内科において NTM 症の診断を受けられた方で診断時の年齢が 50 歳未満の方を対象に、診療録（カルテ）より、診断時臨床所見、診断時血液所見、喀痰、画像、治療薬などの情報について収集します。

・研究に用いる試料・情報について

情報：病歴、カルテ番号、画像 等

外部への試料・情報の提供について

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

研究組織

研究責任者

京都中部総合医療センター 呼吸器内科 部長 伊達 紘二

研究代表（統括）者

京都第一赤十字病院 呼吸器内科 副部長 辻 泰佑

共同研究機関

京都府立医科大学 呼吸器内科 助教 徳田 深作

京都府立医科大学 呼吸器内科 助教 岩破 将博

京都第一赤十字病院 呼吸器内科・感染制御部 部長 弓場 達也

済生会滋賀県病院 呼吸器内科 呼吸器センター長 長谷川 功

宇治徳洲会病院 呼吸器内科 副部長 千原 佑介

京都第二赤十字病院 呼吸器内科 医長 中野 貴之

お問い合わせ先

患者さんのご希望があれば参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2022年12月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター 患者相談係

研究責任者：

京都中部総合医療センター 呼吸器内科 部長 伊達 紘二

研究代表者：

京都中部総合医療センター 呼吸器内科 部長 伊達 紘二

住所： 629-0197 京都府南丹市八木町八木上野 25 番地

電話：0771-42-2510（代） （平日 8：30～17：00）

FAX：0771-42-2096

-----以上